

I 令和4年度一般会計の決算状況

1 決算規模及び決算収支

令和4年度は、市制施行100周年を迎えた本市が、次の新たな100年に向けて第一歩を踏み出す重要な年として、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中においても、「市民の安心・安全な暮らしを守る」、「地域経済を支えていく」ことを前提に、成長産業の創出や子育て支援の充実など、希望あふれる未来を拓く必要性かつ有効性の高い事業の構築を図り、676億7000万円(対前年度比△5.4%)の当初予算を編成しました。

また、年度途中においては、コロナ禍・物価高騰対策等の緊急に予算措置が必要な経費をはじめとした行政需要に対応するため、補正予算82億6440万1千円を追加し、令和3年度からの繰越予算22億114万6千円を含めた最終予算額を781億3554万7千円(対前年度比△9.6%)としました。

決算額は、歳入755億9973万1千円(対前年度比△10.6%)、歳出729億3743万1千円(対前年度比△11.0%)となり、歳入歳出差引額(形式収支)は、26億6230万円で、この形式収支から繰越明許費等に係る翌年度へ繰り越すべき財源7億1845万円を控除した実質収支(純剰余金)は、19億4385万円となりました。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和4年度 a	令和3年度 b	比 較	
				a-b	a/b×100
歳 入 総 額	A	75,599,731	84,605,478	△ 9,005,747	89.4%
歳 出 総 額	B	72,937,431	81,946,220	△ 9,008,789	89.0%
歳入歳出差引額 (A-B)	C	2,662,300	2,659,258	3,042	100.1%
翌年度へ繰り越すべき財源	D	718,450	390,287	328,163	184.1%
実 質 収 支 (C-D)	E	1,943,850	2,268,971	△ 325,121	85.7%